

労働力人口

平成14年平均の15歳以上人口は602万9千人で、前年に比べ5万3千人(0.9%)増加しました。このうち、労働力人口は387万1千人で、前年に比べ4万8千人(△1.2%)減少しました。

労働力人口を男女別にみますと、男性は232万6千人、女性は154万5千人で、前年に比べ男性は2万5千人(△1.1%)、女性は2万3千人(△1.5%)それぞれ減少しました。(第1表参照)

労働力人口比率

労働力人口比率は64.2%で、前年に比べ1.4ポイント低下しました。また、全国の平成14年平均(61.2%)と比べて3.0ポイント上回っています。

男女別にみますと、男性は77.5%、女性は51.0%で、前年に比べ男性は1.6ポイント、女性は1.2ポイントそれぞれ低下しました。(第1表参照)

就業者

平成14年平均の就業者数は371万5千人で、前年に比べ3万人(△0.8%)減少し、2年連続で減少しました。

男女別にみると、男性は223万5千人、女性は148万人で、前年に比べ男性は7千人(△0.3%)、女性は2万3千人(△1.5%)それぞれ減少しました。

就業者数の推移を平成9年以降についてみると、9年は増加しましたが、10年、11年と2年連続して減少し、12年は増加に転じましたが、13年、14年は2年連続して減少しました。

(表1、第1表参照)

表1 就業者数の推移

	(千人)								
	男 女 計			男			女		
	実 数	対 前 年		実 数	対 前 年		実 数	対 前 年	
増加数		率	増加数		率	増加数		率	
平成9年	3795	25	0.7	2275	11	0.5	1520	14	0.9
10	3772	△ 23	△ 0.6	2267	△ 8	△ 0.4	1505	△ 15	△ 1.0
11	3748	△ 24	△ 0.6	2254	△ 13	△ 0.6	1493	△ 12	△ 0.8
12	3770	22	0.6	2254	0	0.0	1516	23	1.5
13	3745	△ 25	△ 0.7	2242	△ 12	△ 0.5	1503	△ 13	△ 0.9
14	3715	△ 30	△ 0.8	2235	△ 7	△ 0.3	1480	△ 23	△ 1.5

産業別就業者

就業者数を主な産業別でみると、農林業は10万1千人で、前年に比べ7千人(7.4%)増加し、2年連続で増加しました。建設業は34万2千人(うち雇用者26万1千人)で、前年に比べ1千人(△0.3%)減少し、3年連続で減少しました。基幹産業である製造業は103万7千人(同96万7千人)で、前年に比べ3万2千人(△3.0%)減少し、2年ぶりに減少に転じました。卸売・小売業、飲食店は83万人(同70万2千人)で、前年に比べ7万3千人(△8.1%)減少し、2年連続で減少しました。サービス業は89万8千人(同77万1千人)で、前年に比べ4万人(4.7%)増加し、増加に転じました。運輸・通信業は24万9千人(同24万人)で、前年に比べ1万4千人(6.0%)増加し、2年連続で増加しました。

産業別の就業者数を男女別にみると、男性は農林業が5万人、建設業が29万人、製造業が72万3千人、卸売・小売業、飲食店が38万8千人、サービス業が41万5千人、運輸・通信業が19万8千人で、前年に比べ農林業は4千人(8.7%)、建設業は2千人(0.7%)、製造業は1千人(0.1%)、サービス業は1万人(2.5%)運輸・通信業は1万3千人(7.0%)それぞれ増加しましたが、卸売・小売業、飲食店は4万9千人(△11.2%)減少しました。女性は農林業が5万人、建設業が5万1千人、製造業が31万3千人、卸売・小売業、飲食店が44万2千人、サービス業が48万3千人で、運輸・通信業が5万1千人で、前年に比べ農林業は2千人(4.2%)サービス業は3万人(6.6%)それぞれ増加しましたが、建設業は5千人(△8.9%)、製造業は3万4千人(△9.8%)、卸売・小売業、飲食店は2万4千人(△5.2%)それぞれ減少しました。なお、運輸・通信業は、同数でした。(表2、第1表、第2表参照)

表2 主な産業別就業者数及び雇用者数の推移

	(千人)											
	農林業	建設業	うち 雇用者	製造業	うち 雇用者	卸売・ 小売業、 飲食店	うち 雇用者	サービ ス業	うち 雇用者	運輸・ 通信業	うち 雇用者	
平成9年	135	354	279	1,147	1,041	869	692	813	669	241	227	
10	121	345	273	1,099	999	891	718	833	693	240	229	
11	95	356	286	1,050	941	929	748	840	698	233	221	
12	82	354	278	1,059	947	934	765	868	722	230	218	
13	94	343	268	1,069	988	903	749	858	725	235	224	
14	101	342	261	1,037	967	830	702	898	771	249	240	

完全失業者(率)

平成14年平均の完全失業者数は15万6千人で、前年に比べ1万7千人(△9.8%)減少しました。

男女別にみると、男性は9万1千人、女性は6万5千人で、前年に比べ男性は1万8千人(△16.5%)減少しましたが、女性は1千人(1.6%)増加しました。

また、全国の平成14年平均の完全失業者数は359万人(前年は340万人)となっています。

(第1表、参考表参照)

完全失業率

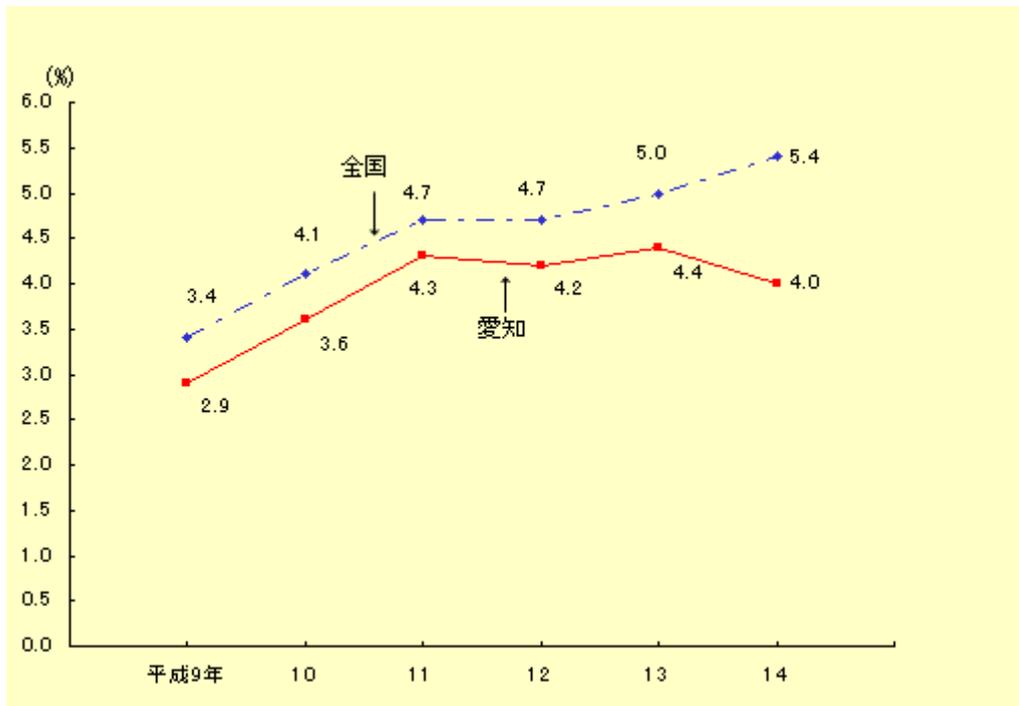
平成14年平均の完全失業率は4.0%で、前年に比べ0.4ポイント低下し、平成12年以降2年ぶりに低下しました。

男女別にみると、男性は3.9%、女性は4.2%で、前年に比べ男性は0.7ポイント低下しましたが、女性は0.1ポイント上昇しました。男性は平成9年以来5年ぶりに減少したのに対して、女性は比較可能な昭和58年以降最高となりました。

また、全国の平成14年平均の完全失業率は5.4%で、男性は5.5%、女性は5.1%となっています。

(図1、第1表、参考表参照)

図1 完全失業率の推移(愛知・全国)



非労働力人口

平成14年平均の非労働力人口は215万6千人で、前年に比べ10万1千人(4.9%)増加し、比較可能な昭和58年以降最高となりました。

男女別にみると、男性は67万3千人、女性は148万3千人で、前年に比べ男性は5万3千人(8.5%)、女性は4万8千人(3.3%)それぞれ増加しました。(第1表参照)